

<報道関係各位>

2010年10月吉日
日本抗加齢医学会 広報委員会事務局

アンチエイジング医学最先端！2010
エデュケーショナルセミナー開催のお知らせ

サイエンスに基づいたアンチエイジング医学の最新情報、最近の話題をお伝えする勉強会を開催いたします。報道関係者の方を対象としています。ご参加をお待ちしております。(無料・先着順)

日時 10月26日(火) 15:00~16:45

会場 丸ビルホールアンドコンファレンススクエア Room5

東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7・8階

TEL: 03-3217-7111

オーガナイザー 坪田 一男(日本抗加齢医学会副理事長、慶應義塾大学医学部教授)

※プログラム詳細は、別紙ご参照ください。

FAX 返信用紙 Fax: 03-5775-2076

参加ご希望の方は、下記必要事項をご記入いただき本紙をご返信ください。メールの場合は、件名に「セミナー申し込み」とご記入のうえ、人数と、お名前、ご所属、ご連絡先をお知らせください。

*座席数に限りがありますので、お早目にお申し込みください。

*日本抗加齢医学会のエデュケーショナルセミナーは、年間4回開催しております。2011年は2月、4月、9月、12月に開催を予定しております。

お名前: _____

ご所属: _____

電話番号: _____

Email: _____

※参加は無料です。

広報委員会事務局担当

小川 大輔

TEL: 03-5775-2075 FAX: 03-5775-2076

E-mail: press-antiaging@mediproduce.jp

アンチエイジング医学最先端！2010

プログラム

15:00～15:15 (15分) 『抗加齢医学会&再生医療学会 アップデート&レビュー』

坪田 一男 慶應義塾大学医学部眼科学教室教授・日本抗加齢医学会広報委員会委員長

15:15～15:45 (30分) 『血管のアンチエイジングで長生きしましょう』

森下 竜一(大阪大学大学院医学系研究科-臨床遺伝子治療学教授・日本抗加齢医学会理事)

“人間は血管から老いる”といわれるように、アンチエイジングを考える上で、血管の老化をいかに防ぐかは重要です。血管を裏打ちする血管内皮細胞が弾力性を失って、堅く脆くなった状態が動脈硬化。心臓に負担をかけるほか、内壁にできた粥腫で血流が滞ったり、粥腫がはがれて細い血管が詰まるなどして、細胞や臓器に血液が届かなくなります。いずれ心筋梗塞や脳卒中の原因に。寝たきりの4割はこれら動脈硬化が元となるものです。大切なのは気付かないうちに進む血管の老化を抑え、いつまでも血管を若く保つことです。

そこで今回は、森下竜一先生に血管の老化を予防するアンチエイジングについてお話しいただきます。また、森下先生が会長を務められる「第18回日本血管生物医学会学術集会(12月1日～3日)」についてもご紹介いただきます。

15:45～15:50 (5分) 『質疑応答』

15:50～16:20 (30分) 『テストステロンで元気に働こうニッポン!』

堀江 重郎(帝京大学医学部泌尿器科主任教授・日本抗加齢医学会理事)

昨今、日本人男性の男性ホルモン『テストステロン』の値が低下しており、この傾向は40～50歳の働き盛りの男たちに顕著に現れます。男性ホルモンの低下は、性的な問題ばかりでなく、心筋梗塞や脳梗塞、生活習慣病、うつ病、メタボリック症候群のリスクを高めます。また、不安、イライラ、うつ、集中力、記憶力の低下など男性更年期の症状を招き、心の健康にも影響を及ぼします。男性の健康を考える『メンズヘルス』にはこのテストステロンの役割が注目されています。またこのテストステロンは働く女性にとっても重要であることが最近分かってきました。元気に働くためのカギとなる「テストステロン」の最近の知見とホルモン力を上げるノウハウをお話しいただきます。

また、堀江先生が会長を務められる「Men's Health Week 2010(11月26日～28日)」の内容についてもご紹介いただきます。

※Men's Health Week 2010の取材のお問合せはこちら…E-mail:office@mhw2010.net)

16:20～16:25 (5分) 『質疑応答』

16:25～16:45 (20分) 『質疑応答(シャンパンタイム)』